

水道事業の業務状況（令和 6 年 9 月 30 日）

1 水道事業の概況

加須市の水道事業は、平成 23 年の 1 市 3 町の合併に伴い、平成 25 年度に新たな加須市水道事業として創設認可を受け、平成 25 年度及び平成 26 年度の料金一元化に伴う激変緩和措置を経て、平成 27 年度からは全市域での統一料金の適用による事業運営を行っています。

水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少に伴う給水人口の減少に加え、環境に配慮した節水意識の高揚、節水機器の普及により、料金収入が減少傾向にあります。

浄水場や管路の老朽化が進んでいるとともに、耐震性が低い石綿セメント管の更新が遅れており、県内で最も多く残っているため、早急に更新することが求められています。

また、浄水場から送り出す水量に対して、料金収入となる水量の割合を示す有収率は、令和 5 年度は 85.63%（前年度比△0.02 ポイント）埼玉県平均を下回っているため、管路の老朽化が進み漏水が多い状況です。このため、施設の稼働が更に収益につながるよう、漏水調査や老朽管の更新などを進めており、特に、石綿セメント管は積極的に更新を進めています。

今後は、「第 2 次加須市総合振興計画前期基本計画」など市の主要計画との整合や社会経済情勢の変化に応じた水需要の動向を踏まえながら、決算ごとに投資計画や財政収支見通しの見直しを行い、今年度策定する「水道施設統廃合計画」や、今後策定予定の「管路更新計画（R7）」、「アセットマネジメント（R8）」により、水道施設の更新等を計画的な更新及び健全経営に努めます。

また、近隣の水道事業者との資器材の共同購入等による経費削減について検討するなど、『将来にわたり安全な加須の水の安定供給』の実現に向け進めてまいります。

(1) 営業状況

令和 6 年度 9 月末現在の水道料金収入の元となる給水量（使用水量）は、年間予定 12,781 千 m^3 に対し、6,567 千 m^3 （51.4%）を執行し、これによる収入額は、年間予定 2,362,468 千円に対し、1,222,524 千円（51.75%）となっております。

(2)建設改良費

令和 6 年度に予定している設備投資に関する主な事業は、下記のとおりです。

事業名	事業費 (千円)	事業概要
石綿セメント管更新	459,143	石綿セメント管の更新（耐震化）工事
水圧不足対策	153,609	水圧不足解消のための配管布設工事
有収率向上対策	23,160	漏水多発地区における漏水調査委託
浄水場統廃合更新整備	321,188	久下浄水場内整備工事(令和 5 年度繰越分) 大利根第 2, 3 浄水場監視制御設備等工事
浄水場設備改修	20,130	睦町浄水場管理棟防水工事 加須北部浄水場高圧コンデンサ更新工事

2 令和 6 年度の経理概況（令和 6 年 9 月末現在）

収入	予算現額 (千円)	予算執行累計額 (千円)	執行率 (%)
収益的収入	2,735,007	1,315,336	48.09
資本的収入	476,668	0	0.00

支出	予算現額 (千円)	予算執行累計額 (千円)	執行率 (%)
収益的支出	2,668,926	961,139	36.01
資本的支出	1,652,346	845,795	51.19